

木曽教育会の歩み

No3

- 1887年（明治20） 私立西筑摩郡教育会誕生（教職員の自主的研究団体）
- 1889年（明治22） 信濃教育会岐蘇部会と改称（県下で6番目に入会）
- 1902年（明治35） 郷土調査（地理歴史）開始
- 1915年（大正 4） 『西筑摩郡図』発行
- 1936年（昭和11） 社団法人木曽教育会設立（創立50周年）
- 1937年（昭和12） 木曽教育会館落成 『郷土図譜』刊行
- 1946年（昭和21） 会報『清音』創刊
- 1947年（昭和22） 藤村記念館落成



【藤村記念館】

（木曽教育会の全面的協力神坂小中学校児童生徒ら労力奉仕）

- 1948年（昭和23） 第1回木曽夏期大学開講（大正の頃から夏期講習で著名人を招聘し研修会を実施していた）
- 1949年（昭和24） 委員会を組織化し、6部43委員会
- 1950年（昭和25） 会誌『木曽教育』創刊（表紙絵・題字 石井鶴三氏）
- 1953年（昭和28） 木曽郷土館 創建（学制80年記念事業として土蔵改修：木曽教育会館北隣）
- 1956年（昭和31） 木曽教育会70周年記念事業：島崎藤村「夜明け前」文学碑建立 沿革誌発刊
- 1964年（昭和39） 会員研修講座 第1回郷土見学遠足（鯉宿・鷺峠・鯉宿）実施。参加者160名
- 1966年（昭和41） 木曽教育会80周年記念事業：『木曽郡図』改訂版発行、『木曽の校歌』『沿革誌』発刊
- 1968年（昭和43） 『木曽～歴史と民俗をたずねて～』創刊
- 1976年（昭和51） 木曽教育会90周年記念事業：木曽郡図改訂版発行
- 1981年（昭和56） 『木曽～歴史と民俗を訪ねて～』改訂版発行
- 1986年（昭和61） 木曽教育会100周年記念事業：百年誌刊行、藤村文学「すべての人を師とせられよ・・・」建立、『木曽民謡集』復刻版出版、教育会館大修理
- 1989年（平成 元） 登山のしおり『御嶽』刊行
- 1993年（平成 5） 『木曽～歴史と民俗を訪ねて～』三訂版発刊（郷土館部）
- 1996年（平成 8） 木曽教育会110周年記念事業：『木曽図譜』の改訂・復刻
- 1997年（平成 9） 木曽夏期大学50回回顧資料『清音涼風』の発行、登山のしおり『駒ヶ岳』刊行
- 1998年（平成10） 木曽夏期大学午前日程に変更。教養部「研修講座」「親子の郷土遠足」開設
- 2001年（平成13） 郡研修日を設定し、同好会等の活性化を図る
- 2002年（平成14） 研究調査部10委員会、郷土館部民俗、考古両委員会を、郷土調査委員会へ統合
- 2005年（平成17） 平成の大合併により、郡内小中学校6校減、22校。
- 2006年（平成18） 木曽教育会120周年記念事業：小学校社会科資料集『わたしたちの郷土』中学校社



【土蔵を改修利用した木曽郷土館】

会科資料集『郷土木曾・地理編』『郷土木曾・歴史編』改訂発行。沿革誌、会誌『木曾教育』総目録 CD 化



【木曾川際に建つ木曾教育会館】

- 2010年（平成22）『木曾～歴史と民俗を訪ねて～』四訂版発刊
- 2013年（平成25）一般社団法人木曾教育会へ移行
- 2015年（平成27）組織再編統廃合、5部12委員会
- 2016年（平成28）木曾教育会130周年
- 2019年（平成31）夏期大学全日程を木曾町文化交流センターで実施
- 2020年（令和 2）新型コロナウイルス感染症予防のため夏期大学等諸事業を中止
- 2021年（令和 3）新型コロナウイルス感染症予防のため総集会、夏期大学をリモート開催
二校目教師の集いをはじめて実施 信州教育の日本曾大会 11 月 20 日実施
八月 木曾川の増水で和室など床下浸水 11 月復旧工事
公共目的支出計画期間終了への対応として長机、カーテン、照明の取替等実施
- 2022年（令和 4）新型コロナウイルス感染症予防のため2年続けて総集会、夏期大学をリモート開催
七月 木曾教育会館浸水防止の為、本工事までの簡易的な土嚢設置
- 2023年（令和 5）第 137 回総集会を4年ぶりに上松町ひのきの里文化センターに参集して実施
- 2024年（令和 6）第 138 回総集会を木曾文化公園文化ホールに移して実施
木曾夏期大学に伊藤由希子先生(日本女子大学)を新しい講師としてお迎えし開講
木曾教育会館の移転について具体的な検討を進める